

クラス番号	333	担当教員名	保正友子
		他専修学生受入上限人数	2名
テーマ	メインテーマ：病院と地域で働く医療ソーシャルワーカーの役割・機能を考える サブテーマ：2年分の青春を駆け抜けろ！		
著書・論文 研究課題等	著書・論文：『医療ソーシャルワーカーの成長への道のり～実践能力変容過程に関する質的研究』相川書房、『医療ソーシャルワーカーのストレスマネジメント』中央法規、『49の実践事例から学ぶ医療ソーシャルワーカーの業務マネジメントガイドブック』中央法規 研究課題：医療ソーシャルワーカーの成長過程や業務マネジメント、ソーシャルワーク教育		

ゼミナール概要

キーワード：病院、地域、医療ソーシャルワーカー、理論と実践の結合

<目的、内容、方法等>

現在、0歳から100歳までが住み慣れた地域で安心して暮らし、医療が受けられる地域包括ケアが推進されています。そのため医療ソーシャルワーカー(以下、MSW)には、子どもから高齢者までの多様な対象者に対して、総合的に対応できる力が求められています。また、地域包括ケアでは多職種連携が重視されており、MSWには「コーディネーター」としての役割も期待されています。このように、MSWの働く場は病院だけでなく、地域にも広がっています。そのため、病院と地域で働くMSWの役割と機能を理解し、適切な連携が求められます。

私のゼミでは、このようなMSWの役割と機能について、3年次に文献検討・事例検討等の理論的学習に加えて、MSWへのインタビューによりMSW業務に触れて学ぶことを重視します。また春休みの見学合宿にも行きたいと思います。

このような理論と実践の結合をはかるなかで、ゼミ生がソーシャルワーカー(SW)に不可欠な価値(規範)・知識・技術の基盤を身につけ、時代が求める利用者に寄り添いながら専門性もしっかり持った職業人として育つことを目指します。なお、4年次の就職活動、受験勉強、卒論執筆などを経て社会人として巣立っていくためにも、ゼミ生同士が相互にサポートしあえるゼミをつくりたいと思っています。

<授業計画>

3年次

- 各グループに分かれて文献検討・事例検討を行うなかで、MSWの役割・機能を学び、病院と地域で働くMSWへのインタビュー(リアル/Zoom)を行います。これまでは、先進的な取り組みを行っている急性期病院、大病院、回復期リハビリテーション病院、子ども病院、先進的な地域医療を行う診療所、医師会で働くMSW、精神科病院MHSW等にご協力いただきました。どのような方にお話を聞くかは、ゼミ生と相談して決めます。
- 卒論のテーマを考えていきます。
- 医療専修で行う合同企画・模擬カンファレンスの準備を行います。
- 春休みには見学合宿を行います(行き先は相談して決めます。交通費・宿泊費が必要)。
- 2024年度の日本MSW協会全国大会(大分県・私も登壇)の参加を奨励します。それ以外の学生向けソーシャルワーク研修等についてはその都度知らせます。
- なお毎回の1分間スピーチ、教員との面接、ゼミ生企画も行います(ハロウィンの仮装&クリスマス会も)。

4年次

- 各自の進路に向けた準備を行う傍ら、卒論執筆を行い各自のテーマを深めます。
- 卒論はできるだけ早く仕上げ、その後は社会福祉士国家試験の受験勉強に専念し、全員合格を目指します。
- 希望者には、就職活動時のエントリーシートの書き方や小論文、面接のトレーニングも行います。

担当教員からのメッセージ



これまで、総合病院のMSW、老人保健施設のSW等を行った後に、大学でSW養成に携わってきました。様々な活動とそこで学んだことの振り返りを大切にしたいです。今、関心があることについて徹底的に掘り下げると、必ず見えてくるものがあるはずですよ。

ゼミでは、各自の目指す進路に向けて徹底的なサポートを行います。その結果、2021年度卒業生は希望の進路に進み、15人全員から授業評価満足度「5」をいただき、2022年度はゼミで希望した10人全員がMSWになりました。MSWを目指していてもいなくても、自分らしく生きたい人、真剣に自分の将来を考えたい人は大歓迎です!

多様な人たちが互いの個性を尊重し、居心地の良い空間を一緒につくっていきましょう。